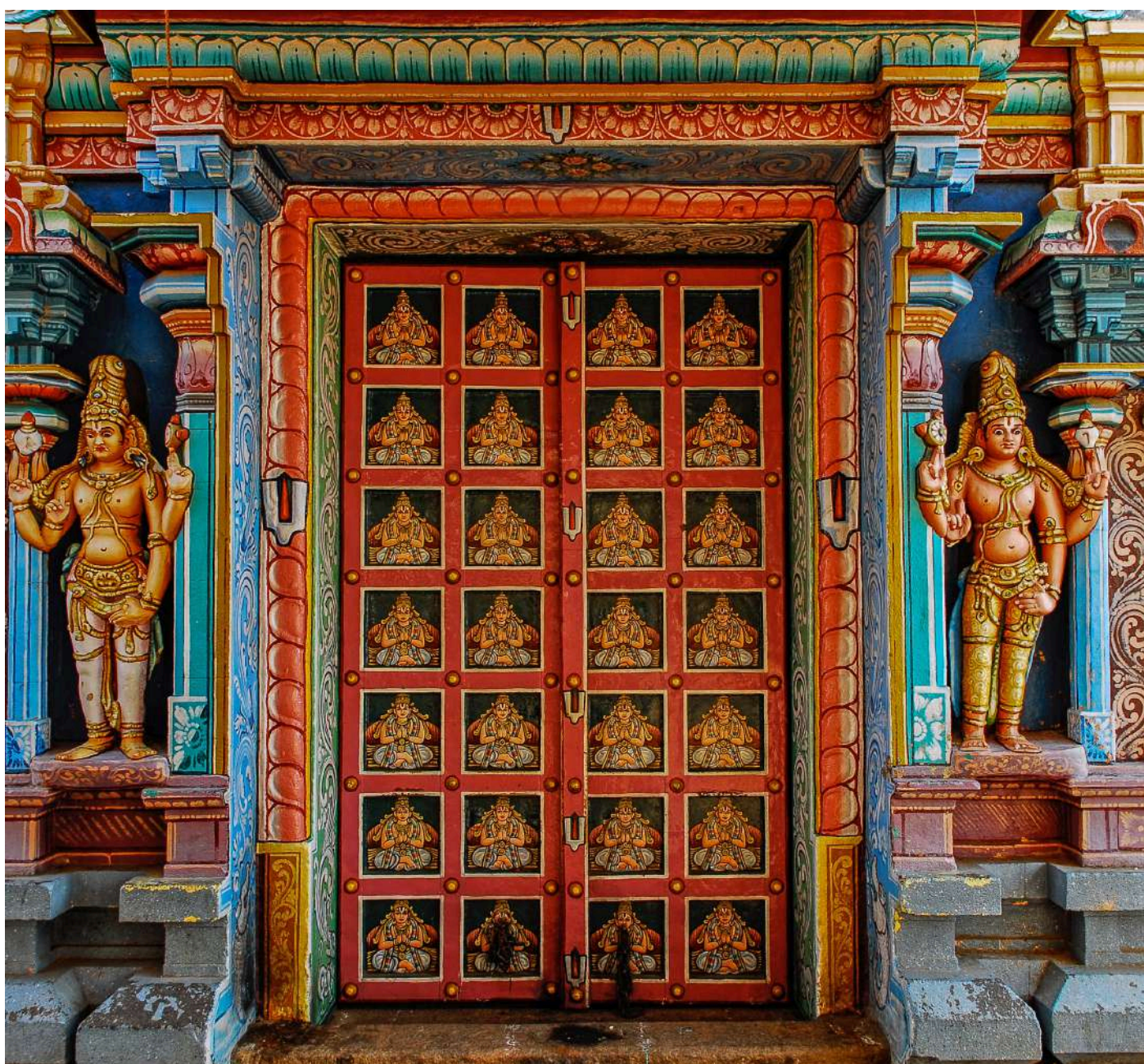


9月号

SEPTEMBER 2024

# MJIA

M A G A Z I N E



公益財団法人日印協会

住 所：〒102-0083 東京都千代田区麹町1-6 麹町保坂ビル6階  
電話 番号： 03-6272-4408



<https://www.japan-india.com>

世界をつなぐ、あたらしい空へ。



日印協会は、明治36年（1903年）の設立以来、日印間の政治・経済・文化交流に貢献しています。

## 目次

《寄稿》	「私の日印交流」 岩田紘行	4
《企業のご紹介》	JOEL INDIA	7
	損害保険ジャパン株式会社	11
法人会員一覧		15
書籍紹介		16
映画紹介		17
日印協会からのお知らせ		19

## 公益財団法人日印協会

住 所： 〒102-0083 東京都千代田区麴町1-6 麴町保坂ビル6階  
電 話 番 号： 03-6272-4408  
ファックス： 03-6272-4135  
メー ル： partner@japan-india.com  
ホームページ： <https://www.japan-india.com>

MJIA (Monthly Japan-India Association)

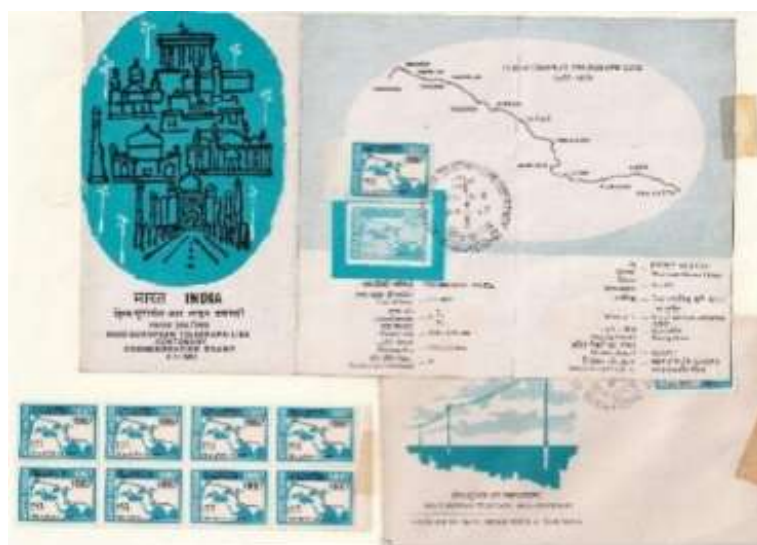
2024年9月号 (2024年9月20日発行)

発行人：齋木 昭隆 編集人：多賀 政幸

## 「私の日印交流」

岩田紘行 慶応義塾大学・国際関係会GM  
 公益財団法人日印協会 個人会員  
 富山県知事委嘱「とやまふるさと大使」

57年前、昭和42年～43年（1967-68年）に母校慶応義塾大学の「国際関係会」IIRの交換学生としてインド・マドラス（現チェンナイ）のLoyola collegeへ1年間留学（遊学）しました。私のパスポート上のインドVISASはNo.2010でMadrasで1年間有効でした。当時のマドラスはドラビダ人の独立機運が高く、「タミルナードを我らに」と叫び集会・デモを盛んに行っていました。デモの後、エチルアルコールを飲み200人以上の死者が出たと新聞では報じられていました。若いインド人によく聞かれるのが、「50年前のインドはどうでしたか？」です。小生が留学（生活体験）した学校の寮では、学生は暗かった様な気がしました。当時のアート系大学では男子のみの通学でしたが、（インドが男女共学制になったのは1998年以降です）大学での一般学生（インドではエリート階級に所属）の目は輝いていなかった気がしました。Slaves of Loyolaと云う言葉を聞いた事が有りました。私がインドに居た1967年に発行された切手を2点持ち帰りました。1点は「インド⇄欧州電信開設



100周年記念・1967年発行」です。なんと1867年（明治維新1年前）に既にロンドンとカルカッタ間は電信で結ばれていたと云う史実に非常に驚かされた記憶が有ります。もう1点は「インド義勇軍創設記念・1941.12.26 1967年記念切手発行」でShri Rashbehari Basu（中村屋のボース）がインドの英国からの独立宣言を東京で行いインド義勇軍の初代総裁に就いた事を記念しての物でした。小生は学生時代、インドへ約1ヶ年間遊学した次第ですが、講師用の寮に入ったとはいえ大変苦しい体験（生活慣習が大きく違う）でした。「生活慣習が大きく違う」という点では、個人に

より異なる訳で、食生活（カレー、ヨーグルト系のスッパイ味、腐敗したような匂い等がダメ）そして「ケタタマシイ、ダンス音楽が好きではない」、清潔感が違う、などが今となってみれば、最大の苦しい体験だった様な気がします。一方、南インド発祥と云われる楽器のヴィーナやシターの演奏、タブラーとの共演を観賞するのは大好きです。演奏者同志の掛け合い、コンセプチュアルな演奏は楽しく、インド古典舞踊のカタックダンスやカタカリなどを今も鑑賞しています。就職してからは14年間、大日本印刷(株)の社員として米国、NY Chicagoでの駐在生活を送

## TOPIC: CONTRIBUTION

りましたが、この間インドとの関係はほとんど有りませんでした。前述「国際関係会」IIR について少し説明させていただきます。1955年の創設のクラブですが、米国Stanford Univ.からの「学生を年間交換しよう」との呼びかけで始まりました。

その後カナダ・バンクーバーのUBC、Victory Univ.との年間交換、そしてインドとは1960年からデリーのSt.Stephen's collegeと、南のLoyola collegeとは1961年から、それぞれ隔年での年間交換を始めました。皆、私立のArt系の大学同士の交換であり、慶応の場合はスタンフォード大と同じく運営が学生の手によるものでした。IIR, Institute of International Relationsとスタンフォード大と同じく大仰な名前ではじめました。来日する年間交換留学生の生活費は最初OBからの寄付で賄われ、後年は学生の自治会費で行われました。創立当初から現在に至るまで、すべての運営、活動は学生の手で行われ維持されています。インドからの留学生は、St.Stephen's college（インドのArt系大学としては常時ランク1位です）からはNarashimha Murthy（故人・教育者）、Aftab Seth（外交官・教育者）、Chander Rai（故人・米国IT関係出版の第一人者）、Arif Hussain（インド外交官・元WTOインド代表）など（敬称略）錚々たる人脈です。Aftab Seth氏



は2000年—2003年、在日インド全権大使として赴任しました。1998年インドは原水爆実験を行い、これに対応して、日本政府がODAを凍結するなど日印関係が戦後最も冷めた時でした。当時のインド首相バジパイ氏は最も親日家であり、日本語を流暢に話せる特命全権大使としてAftab Seth氏を任命し、氏は着任してきました。我々IIRメンバーは「Aftab Seth君を支援する会」を立ち上げ、日印交流の企画・実行で協力しました。2002年にインド大使館・外国人駐在員協会（FCCJ）・慶応IIRの3者の共催でFCCJ ダイニング・ホールでのINDIA NIGHTの開催や現役学生によるINDIA DAYなどを行いました。後日、彼は慶應義塾大学の教授を務め、Global Security Centerの所長に就任しました。2015年秋の叙勲で最高位

の旭日大綬章を受けられました。以降Aftab Seth氏は江東区大島にあるthe Global India International School in Japanの理事会議長として就任し、毎年訪日しています。そして今も小生を含め数人でKeio Boys Meetingとして、HUBビールで乾杯、お寿司での会食と歓談を毎年楽しんでいきます。慶応義塾大学の「国際関係会」（IIR）は日本で最初に1955年に学生だけの手により、学生の為の年間交換留学生制度を創設した学生団体ですが、インドとの年間学生交換を行い、10名のインド学生を受け入れ、12名の慶応学生を派遣しました。現在IIRは短期（約1週間程度）の学生交換のプログラムを行っています。現在も現役学生が活動の主体ですが、一番苦勞するのはホストファミリーの確保であり、最大の課題です。（出来れば読者の方でホスト

ファミリーが可能な方はご協力をお願い致します) 現役学生による日印交流のプログラムはIIR/NEXTプロジェクトとして Re-discover yourself and your countryのスローガンを掲げ日印交流の企画を立案し実行しています。

上記の関係から、私は2009年日印協会の個人会員として参加すると共に、協会の活動特に催事企画のお手伝いをしました。特に思い出に残る企画としては「上野動物園でのインド象・インディアの物語を記念する永久保存用のパネルの作成を行い、記念式典を行いました。今一つは2012年に日印国交樹立60周年記念の催事を行ったことです。特に「日印交流150年の記録写真展」を各地で行いました。インド大使館を初め、経団連会館ホールでの開催や、3月12日デリーの国際文化会館での式典と1週間にわたる写真展を行いました。この写真展はチェンナイへも移動し開催されました。この訪印の折、インドでの母校(前述2 colleges)を訪問しましたが、若い学生たちの目は輝いていたことを思い出します。そしてこれらの写真をベースに解説のナレーションを取り入れたDVDを手作りで作成し、諸企画会場で流すことになりました。そして個人として企画したことでは、「富山インド協会」の創設に寄与したことです。小生は富山市出身ですが、その当時富山県知事であ

った石井隆一君は富山大学付属小・中学時代の親友であり、インドとの交流の重要性を説明し理解を得ました。後日、彼は北日本新聞社長を紹介してくれ、短時間の内に創設がなりました。「とやまふるさと大使」としての役目に貢献出来、かつインドとの交流に微力ながらも寄与できたと自負しています。日印協会での5年間は私にとって、とても充実した時間を得ましたが、何よりもインドを愛する友人と多くの知己を得たことです。心より感謝するところです。

「インドについて」ですが、多様な国・社会です。インド(インダス河の向こうの人々⇒よく解らない人々が起源では ) (Hindu→Hindoo→Hindi→India)ですが、ヒンドウ教の(人々の)世界であり、宗教からくる考え方、信じるものが違う等があると思います。その最たる事例では、ガンジス河で沐浴し、その水を飲むと言った例がありますが、「私もよく解らない」と言うのが本音です。それでも日本とインドとの交流は1500年前より始まっていますし、インドの存在は今後益々重要となっていくわけですので、日印の関係(交流)について特に明治以降の友好の歴史について私はこれからも更に勉強していきたいと思っています。交流ということから言えば究極の交流は国際結婚であ

り、移民(市民権を得る事)による定住とその地での社会的同化、貢献ではないでしょうか。移民を決意する動機は生活の為と言う事も有りますが、移住先の地、国に同化したいという意志、気持ちが有るからだと思います。自分の能力を発揮する場所がその地にあると思うからであります。古代よりインドは多くの移民を出してきました。米国、カナダそして東アジア(ミャンマー、マレーシア等)さらに中近東(サウジアラビア、他)遠くは南アフリカへも多くの移民を出してきました。グローバル化するインドですが、日本へも移住してきた(定住した)インド人がかなりおられます。若い世代に向けてあえて言うておきたく思います「交流する事、互いに知り合う事が第1歩ですので、人と人の交流がもっと盛んになる事を望むものです。特に学生交流は大事です。」

# 企業のご紹介

## JEOL INDIA

JEOL INDIAの挑戦と成長：  
インド市場における信用構築  
の物語

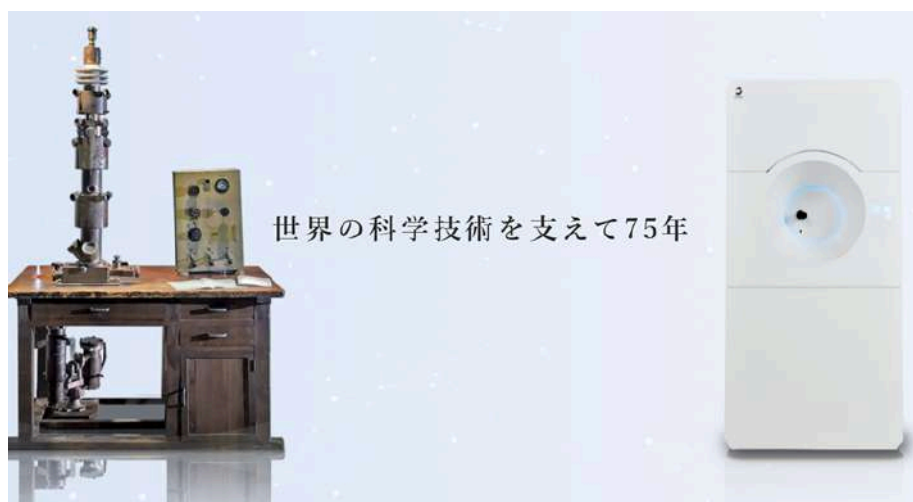
### 1. 序文

JEOL INDIAは、2011年4月に日本電子株式会社（以下日本電子）のインドにおける理科学計測機器の販売・サービス会社として設立されました。今回は、当社の歴史、事業内容、特色、ビジョン、そしてインドとの関わりについて紹介させていただきます。

### 2. 会社の歴史

日本電子は、戦後間もない1949年5月に創業者の風戸健二が電子顕微鏡の開発会社として発足以来、創造と開発をもとに科学の進歩と社会の発展に貢献するという創業時からの理念を糧に、これまで最先端の理科学計測機器、産業機器そして医用機器の開発に邁進してきました。また、世に先駆け、世界市場を視野に入れた販売、サービス体制の構築に努め、今では数多くの製品が世界のいたるところで使用され、電子顕微鏡で世界トップレベルの真のグローバルニッチ企業として高い評価を頂いております。

インド法人設立は2000年代に入ってからで、それまで欧



米のマーケットに依存していたところから中国やアジア市場の拡販に乗り出した時期と重なります。当社のインド市場への対応は、当初は当社による直販体制でしたが、2005年にシンガポールに拠点を置く当社の子会社で地域統括会社であるJEOL ASIAへと販売管轄を移行し、2011年3月まで代理店を通じての販売とサービスを提供しておりましたが、需要の拡大とそれに伴う直販体制の必要性が高まり、現地法人設立へと至ります。

### 3. 事業内容と特色

JEOL INDIAの事業は、主に理科学計測機器の販売とアフターサービスです。電子顕微鏡や核磁気共鳴装置（NMR）といった高度な計測機器を提供しており、これらの機器は

材料科学や生命科学などの研究分野で広く利用されています。主な顧客は大学、研究機関、民間企業の研究開発部門や品質管理部門などで、これらの機関は高度な研究や開発に従事しているため、当社の製品には高い精度と信頼性が求められます。

そのため、理科学計測機器は、ただ装置を販売するだけではなく、その後のアフターサービスも非常に重要であり当時の我々の課題でした。そのためには地に根を生やした人的インフラを早急に構築する必要があると考えたのです。

当初は、装置販売と販売後のサービスメンテナンスを別々の会社が担当しており、前者は代理店、後者は当社で対応していました。しかし、

設立から1年も経たないうちに、インド市場全体での理科学計測機器の販売・サービスメンテナンスを一手に担う体制へと変貌を遂げました。これは、正にインド市場がそれを強く求めていたからです。お客様の要求は厳しく、それは実際に大学や官公庁でプラクティカルに装置を使うユーザーの実態に基づくものでした。厳しい要望に応え続けることで信頼を獲得し、最終的には信頼できるパートナーとして認められる。それがインド市場の特性であり、我々もその信頼を背景に成長してきたと感じています。

当初JEOL INDIAはニューデリーの小さな拠点からスタートしましたが、現在はデリーの拠点を本部として、これに加え、ムンバイ、コルカタ、チェンナイ、ハイデラバードと複数拠点到る組織へと成長しました。一方で、インド独特の商慣習、法律、複雑な税務に悩まされることも多々あります。特に



JEOL INDIA社員集合写真 2024年5月

官公庁予算は入札、契約、実際の取引に至るまでの手続きが非常に複雑です。2011年から現在に至るまで、諸手続きの複雑さはほとんど変わっていないと感じています。科学分野への投資継続とともに、諸手続きの簡素化は外資からも強く望まれるでしょう。

会社設立当初から、お客様からの信頼を得るために誠実な対応と高品質なサービスの提供を心掛け、信頼関係を構築

してきました。その良き習慣は今でもJEOL INDIAに根付いています。顧客とのこの信頼関係をさらに強化し、新たな挑戦を続けています。

#### 4. 成長期、黎明期、そして新生JEOL INDIA

当社のインド進出は、いくつかのフェーズを経て今日に至っています。2011年から2014年までは成長期として、多くのイベントがあり、会社とし



## 言語とテクノロジーを、日本とインドで

### ▶ 翻訳 / ローカライズ

英語や日本語とインドの各言語間双方向の翻訳 / 通訳  
80 言語以上に対応する  
翻訳・ローカライズサービス



### ▶ ソフトウェア開発

### ▶ IT サポート業務および 人材コンサルティング

- ▶ インド現地における各種印刷物制作
- ▶ インド現地における市場調査など

**Japan** フィデル・テクノロジーズ株式会社

〒102-0074 東京都千代田区九段南 2-2-3 九段プラザビル 7 階  
電話：03-6261-4910（翻訳・印刷・現地調査）  
電話：03-6261-3309（開発・IT サポート）  
Eメール：info@fideltech.com Web：fideltech.jp

**India** Fidel Softech Ltd.

Address: 2nd Floor, West Wing, Marisoft IT Park 3,  
Kalyani Nagar, Pune 411014 (MS), India  
Tel: +91-20-49007800  
Email: sales@fidelsoftech.com Web: fidelsoftech.com

ても国としてもインフラの整備が急激に進んだ時期だと思えます。この時期には、多くの投資が行われ、インド市場は急速に発展しました。2015年から2020年までは黎明期として、さらなる成長の基盤を築きました。そして、コロナの苦難を乗り越え、現在では新生JEOL INDIAとして、多くの商談を抱える組織へと成長しています。組織の規模で見れば、シンガポールの親会社を凌ぐ勢いです。目下の目標は、いかにしてこの市場で稼ぐ力をつけるかです。とにかく規模が大きくなったのは、旺盛な需要の裏返しであると同時に、今後はより一層のマネジメント力が求められる時代に突入しています。

## 5. 地域ごとの対応と一体感の維持

インドは広大で、それぞれの地域で言葉も文化も異なります。この多様性に対応するため、地域ごとに異なる戦略を展開しています。

以前はインドをひとくくりにしてビジネスを考えていましたが、支店が増えることで、地域毎の特性に合わせたきめ細かいサポートが必要な時代に突入しました。それぞれの地域の需要に応えるために、多様な対応が求められますが、年に一度開催されるアニュアルミーティングでは、全てのスタッフが一堂に会し、「会社としての一体感」を感じることが出来ます。これは



会社設立当初から人と人との信頼を社風に根付かせてきた成果であり、対応する戦略は多様でも、会社としての一体感をもってお客様のニーズに応える姿勢が、JEOL INDIAの現在の強みです。

## 6. 現地リーダーシップの課題と次世代リーダーの育成

もう一つの現状の課題は、次期リーダーシップを現地人から育成することです。インドは若い世代が多く、人口構造がインドネシアやベトナムと似ています。このため、人材は豊富ですが、流動的で定着させるのが難しい側面もあります。そこで、当社ならではの魅力を感じてもらい、この市場で一緒に戦っていける

次世代リーダーを育てていくことが大きな課題であり、やりがいでもあります。規模が大きく成長した組織として、本社からの期待も大きい故、マーケットの成長と同時に、それにふさわしい組織へと成長することを目指しています。

## 7 インド市場の未来とJEOL INDIAのビジョン

インドに限らず、理科学計測機器業界も他業種の例に漏れず世界競争が加速する一方です。ASEAN諸国では大学と企業の連携がより活発になり、さらなる外資の投資の呼び込みに必死です。コロナ禍が明けて、「メイク・イン・インド」政策やインド国

内企業の後押しと共に海外資本の積極誘致による工場、研究所の設立や増床が加速しつつあります。今までインドでは1次産業である農業と3次産業であるIT系産業が主でしたが、インフラの整備と共に2次産業である製造業、生産拠点の積極的な構築を進めており、半導体、自動車を中心とした燃料電池、そして以前より世界的な規模だった製薬関連分野への投資をさらに積極的に行っています。それによりインド国内外の民間企業がインド国内向け、さらには、中東、アフリカ向けの生産拠点として拡大しようとしています。世界の工場として拡大していった頃の中国を彷彿とさせるような状況です（※特に微細化が進行している半導体市場では当社の電子顕微鏡や電子ビーム描画装置、等が重要な役割を担っています）。

当社の分析機器・理科学計測機器（特に電子顕微鏡や核磁気共鳴装置などのいわゆるハイエンド機器）は科学技術や製造業の発展には欠かせない重要なツールであり、各国が科学技術立国を目指している今、またSDGsの目標達成に科学技術で貢献する企業として、当社の責任はきわめて大きいと認識しております。

これからも当社が提供する高品質な製品とサービスを一貫したサポート体制で提供することにより、顧客の満足度を最大化し、長期的な信頼関係を築くことを目指してまいります。

最後に、日印協会の会員企業様のインド市場での更なる成長と成功を祈念しております。



日本電子株式会社

〒196-8558 東京都昭島市武蔵野3丁目1番2号  
 代表 042-543-1111

インドの「おいしい」「安全」を日本へお届けしつづけ、24年。

Organic Tea

Mango

Coffee

Shop in New Delhi

Uitea CHAMRAJ GROUP  
 コーラクンダ茶園  
 チャムラーダ茶園  
 日本総代理店

Mokaibari  
 Since 1959  
 マカイバリ茶園  
 日本総代理店

HAPPY HUNTER INDIA

有限会社マカイバリジャパン (マカイバリ茶園アジア・日本総代理店)  
 東京都中野区沼袋 4-38-2 Tel: 03-5942-8210 Fax: 03-5942-8211 makaibari\_japan  
 tea@makaibari.co.jp www.makaibari.co.jp

ISHII TRADING PRIVATE LIMITED (インド会社)  
 E52 Hauz Khas Main Market, New Delhi-110016, INDIA info@ishii.co.in

india\_happyhunter 10

元ネルー大学教授ブレム・モトワニ氏がメールマガジンにてインドからお届けする「インドの今」。  
 ご登録は、マカイバリジャパンのホームページから。 www.makaibari.co.jp

ガネーシャ通信

## 企業のご紹介

# 損害保険ジャパン株式会社

当社、SOMPOグループの中核会社である損害保険ジャパン株式会社（以下「損保ジャパン」といいます。）のインドにおける事業展開についてご紹介します。

### 1. 当社概要紹介

損保ジャパンは、1888年に創業し、日本で初めて火災保険を販売した損害保険会社です。保険事業とその先にある安心・安全・健康の領域で、お客さまにとって価値ある商品・サービスを創造し続けていくことで、社会課題の解決や持続可能な社会の実現に貢献していきます。お客さまへいち早く安心をお届けするために、最もお客さまのお役にたたなければならない事故や災害等「もしものとき」に、きめ細やかな対応で全力でサポートします。

日本国内では502の営業拠点と279の保険金サービス拠点、海外では27か国・地域に拠点があり、インドでは国営のIndian Bank・Indian Overseas Bank、民間のDabur Investments・Karnataka Bankと共同出資し、Universal Sompo General Insurance Co. Ltd.（以下「USGI」といいます。）を2007年に設立しました。

USGIは、インド国内に152のオフィスを有し、1,900名超の社員が業務に従事しています。インドに進出されている日系企業に加え、インド地場企業や多国籍企業



へも企業分野向けの保険商品を提供するとともに、個人分野でも自動車保険や医療保険を中心として保険商品を提供し、インドでもお客さまの安心・安全・健康に資する業務を行っています。

また、インド政府が掲げる「Insurance for All by 2047」の実現に向けて、保険普及率の低い地方・農村部における保険認知度向上活動は重要な施策のひとつとなっており、USGIはインド南東部のアーンドラ・プラデーシュ州において、保険ブローカーのMaruti Suzuki Insurance Broking Private Limited社と共同で、保険の認知度

向上を目指した取組みを2024年6月に開始しました。「もしものとき」が起きた際の損害保険の利点についての啓蒙に留まらず、同州の住民の多様なニーズに合わせたワークショップやコミュニティ支援プログラムも含めたものであり、2024年7月には無料の自動車検査や眼科検査等も併せて実施しました。

USGIは損害保険事業だけでなくCSR活動にも注力しており、以下の2つの事例を紹介します。



① Cardiology at Doorsteps Foundation (以下「CAD」といいます。) への寄付。

CADは、インド南西部のカルナータカ州に拠点を置き、心電図装置やその他の補助機器を遠隔地の医療施設に供給することにより、現地の患者へのスピーディーなサポートと医療提供を支援しています。CADは特にインドの農村部における遠隔心臓病学分野での活動が特徴で、アターラ・カナダの近隣地区に医療センターを設置するプロジェクトを支援するために2022年4月にUSGIのCSR基金より寄付を行っています。

② Civil Hospital Shillong への寄付

インド北東部メガラヤ州に所在するシロンにある市民病院向けに、2022年6月に血液透析装置・心臓モニター装置・超音波診断装置・人工透析装置を設置するための資金を拠出しました。これにより、当該病院は屋内でも屋外でも対応することが可能となり、装置の稼働率が上がった結果、より多くの患者が受診できるようになりました。

さらに、SOMPOグループの一つであるSOMPOケア株式会社では、2024年8月1日にインド国家技能開発公社 (National Skill Development Corporation) の100%子会社であるNSDC International Limitedとともにインド人介護人材の教育と受入に向けた協業事業を開始しました。本協業事業では、インド人材向けのオリジナルの教育プログラムを開発・提供し、日本語



に加えて介護に関する知識とスキルを習得した人材の育成を目指しています。本協業事業を通じて、日本式介護を学んだ質の高いインド人介護人材を持続的に採用・育成できる仕組みを構築し、日本国内の介護事業者が直面する介護人材の需給ギャップという社会的課題の解決に貢献します。

2. USGIの主な商品ラインナップ

今回は企業のみなさまに向けた内容を中心に紹介いたします。

①火災保険

オフィス・工場・倉庫等の建物・機械設備・保管商品等への損害を補償します。保険契約内容によりますが、火災、落雷、破裂・爆発、台風



や洪水等の自然災害、車両等の衝突、水濡れ、ストライキ、電氣的・機械的事故、不測かつ突発的な事故等による物的損害がカバーされます。また、上記による経済的な利益損失に対するカバーもラインナップにあります。なお、盗難補償を希望される場合には、インドでは別途盗難保険に加入します。

#### ②運送保険

輸出入やインド国内輸送に伴う鉄道・道路・海上・航空等で輸送中の貨物への物的損害を補償します。特に、インド国内輸送中の損害に対しては、インドでは賠償請求に時間を要すること、また運送法上での運送業者の最高責任額は「運賃の10倍」と定められていることから、十分な補償を確保するために荷主自らが保険を手配することが望まれます。

#### ③賠償保険

他人の身体や財物に関係する事故を起こして法律上の損害賠償責任を負う必要があるとき、それを負担することで被る損害を補償します。製造・販売した製品に起因した事故を補償する「生産物賠償責任保険（PL保険）」、インドで一定基準量以上の法定危険物を所有・管理する者が加入を義務付けられている「公共賠償責任保険」といったラインナップを揃えています。

#### ④自動車保険

日本と同様に強制保険と任意保険があります。強制保険は

対人・対物賠償責任保険および搭乗者傷害保険であり、新車の場合等を除き車両保険は任意加入となります。

#### ⑤工事保険

工場建設工事やオフィス内装工事、製造設備の据付工事等において、火災、自然災害、盗難、作業誤り等により発生した物的損害を補償します。

#### ⑥医療保険

インドには日本のような公的健康保険制度はなく、医療費用に対する備えは医療保険を利用します。企業団体医療保険は病気・ケガによる医療費実費を補償し、従業員の福利厚生という観点に加え、従業員の確保や定着化の観点でも多くの企業が加入しています。

### 3.USGIのリスクマネジメントサービス

保険に代表されるような事故が起こった際の金銭的な補償だけでなく、事故を未然に防ぐ観点や、万が一事故が発生した場合でもその損害をより小さくするという観点で、USGIではリスクマネジメントサービスを提供しています。USGIではリスクマネジメント専門のエンジニアがおり、以下のようなサービスをラインナップしています。

#### ①工場・倉庫等への防災診断

火災・爆発・自然災害の危険度調査、サーモグラフィを活用した漏電火災リスク調査等を実施し、洗い出したリスクへの対策を含めてレポートにて提供します。

#### ②物流リスク診断

保管エリアの検査、貨物の積み下ろし技術の見直しや、倉庫内の保管・資材の取扱い等について評価します。また、工場・倉庫等から指定場所まで、輸送する貨物やコンテナ車両の安全性を確保するため、出発地点から目的地までの実際に走行する道路や、その他の状況（橋、貨物の高さ制限、地下道、速度制限等）の調査、GPSを活用した運転データの分析等によりリスクを特定し、事故防止策を含めてレポートにて提出します。

#### ③事故再発防止診断

実際に発生してしまった事故に対して、原因分析、損失前後の調査等を通じて、再発防止策や損害軽減策をレポートにて提案します。

#### ④従業員向け健康サービス

医師を派遣した健康相談会、生活習慣病等をテーマにした健康セミナーやヨガセッション等を提供します。

### 4.適切なリスクマネジメント

地球温暖化の影響により、大規模な自然災害は世界中で頻発していますが、インドも例外ではありません。2024年に入ってから、インド北東部の西ベンガル州で5月26日に発生したサイクロンでは多くの家屋が倒壊し、7月30日にはインド南部ケララ州の大雨による土砂崩れで150名以上の死亡が確認されています。

企業はこのような自然災害を含めた自社のリスクを見える化し、それぞれのリスクが事業に与える影響等から対策の優先順位を付け

、リスクの防止・軽減策を講じ、リスクの転嫁を行うことが重要です。

リスクの見える化には、前述のリスクマネジメントサービスの活用が有効です。SOMPOのようなリスクマネジメント事業を展開する企業では、事業所の所在地における様々なリスクを分析し、その程度を洗い出すことによるリスクの防止・軽減策の提案や、ワーストケースが発生した場合の予想損害額を算出するサービス等を提供している場合もあります。

次に、それらのリスクをいかにマネジメントするかをご検討ください。前述のようなサービスを活用し、リスクを防止・軽減することが望ましいですが、全てのリスクをなくすことは難しいため、保険へ転嫁することもリスクマネジメント手法のひとつです。例えば、自社施設が損傷した場合の修繕や建て替え費用および復旧中の収益減少額に対応

する保険商品としては火災保険が代表的ですが、補償されるリスクは保険契約内容により異なります。みなさまがご加入されている保険契約は、「見える化」された自社のリスクに対して適切な契約内容でしょうか。

企業自身が抱えるリスクを正しく認識し、それぞれのリスクに対しどのようにアプローチするかをしっかりと検討することが重要です。保険契約内容についても「事故がないので見直ししない」ではなく、自社に必要な補償の見極めや、サービスを適切に活用するという観点での確認をおすすめします。

Universal Sompo General Insurance Co. Ltd.

折原 功一朗

損害保険ジャパン株式会社

<https://www.sompo-japan.co.jp/>



Universal Sompo General Insurance Co. Ltd

<https://www.universalsompo.com/>



インドの良き食文化をお伝えする事が私たちの使命です。(全国配送承ります)



シタルのインドカレー  
変わらぬ人気のカレーをそのままのお味で、ご家庭へ。

社長の増田泰観は学生時代、当時九段にあった印度料理アジャンタでアルバイトとして入店し、大学卒業後はコックとして修業を積み、1981年に千葉市で印度料理シタルを創業いたしました。



アルフォンソマンゴードリンク  
アルフォンソマンゴーといえばシタル。自信ある逸品です。

社長の増田泰観が情熱を傾けるアルフォンソマンゴーから作る無添加ドリンクです。毎年インドの農園へ行き品質を確認して原料となるマンゴーを輸入しています。



野生黒蜂蜜 ハンティングヒー  
インド メルガートの自然保護区でハニーハンターによって採集される貴重な蜂蜜です。



おうちでつくれるチャイセット  
インドのパザールで飲む味そのまま！おうちで簡単チャイキット。マサラとレシピ付。

味と香りの調へを奏でる since 1981  
**シタル 印度料理シタル**  
千葉県千葉市花見川区検見川町 1-106-16  
mail : info@sitar.co.jp

■ 上記以外の商品も多数取り揃えております。  
■ 個人様、企業様向け季節のギフトなどのコーディネートもご相談承ります。

# <法人会員一覧>

2024年9月現在 (50音順)

## 特別法人会員 71社

株式会社 朝日新聞社  
ARMS株式会社  
医療法人社団 育健会  
株式会社伊藤園  
伊藤忠商事株式会社  
ウェブスタッフ株式会社  
弁護士法人 瓜生・糸賀法律事務所  
エア・ウォーター株式会社  
株式会社エイチシーエル・ジャパン  
株式会社SMI  
株式会社NTTドコモ  
ASA CORPORATE CATALYST INDIA PVT.LTD.  
株式会社川内美登子・植物代替療法研究所  
キャノン株式会社  
蔵町工業株式会社  
黒崎播磨株式会社  
株式会社グローバルヒューマニー・テック  
国際縄文学協会  
国際スポーツ振興協会  
公益財団法人 国際文化会館  
小島国際法律事務所  
株式会社小松製作所

サントリーホールディングス株式会社  
株式会社シンリョー  
ジャパンベガスツアーズ株式会社  
スズキ株式会社  
住友商事株式会社  
株式会社西武・プリンスホテルズワールドワイド  
世界開発協力機構  
世界芸術文化振興協会  
全日本空輸株式会社  
総合警備保障株式会社  
双日株式会社  
第一三共株式会社  
株式会社大和証券グループ本社  
第一生命ホールディングス株式会社  
千代田化工建設株式会社  
株式会社ディー・エヌ・エー  
DENNYS WORLD PUBLIC CHARITABLE TRUST  
ティー・アイ・シー協同組合  
一般財団法人東京芸術財団  
株式会社東芝  
株式会社東横インホテル企画開発  
戸田建設株式会社  
豊田通商株式会社  
鳥飼総合法律事務所  
日本航空株式会社

日本タタ・コンサルタンシー・サービス株式会社  
株式会社日本視聴覚社  
日本製鉄株式会社  
東日本旅客鉄道株式会社  
株式会社菱法律・経済・政治研究所  
株式会社日立製作所  
フィデル・テクノロジー株式会社  
株式会社フジタ  
富士フィルム株式会社  
株式会社プレジール  
ボラリス・キャピタル・グループ株式会社  
医療法人社団創生会町田病院  
松田綜合法律事務所  
丸紅株式会社  
株式会社ミスズ  
三井物産株式会社  
三菱商事株式会社  
民間外交推進協会 (FEC)  
株式会社MIXI  
武蔵野メディカル株式会社  
株式会社メタルワン  
郵船ロジスティクス株式会社  
株式会社ライズ・ジャパン  
ランプの宿株式会社  
リッキービジネスソリューション株式会社

## 一般法人会員 135社

株式会社IHI  
株式会社IPパートナーズ  
株式会社アシックス  
アセアン・フィナンシャル・ホールディングス株式会社  
A'ALDA PTE. LTD.  
株式会社 安藤・間  
アーチ株式会社  
一般社団法人 ART OF LIVING  
いすゞ自動車株式会社  
株式会社INPEX  
エア・インディア リミテッド  
SBSホールディングス株式会社  
株式会社エトワール海渡  
エンビジョンエンタプライズソリューションジャパン株式会社  
沖印友好協会  
株式会社 オリエンタルコンサルタンツグローバル  
株式会社 オリエンタルランド  
オーウィル株式会社  
株式会社オープンハウスグループ  
加賀電子株式会社  
鹿島建設株式会社  
亀田製菓株式会社  
関西学院大学  
株式会社クボタ  
株式会社熊谷組  
株式会社 啓文社  
株式会社 ケー・アンド・エル  
鴻池運輸株式会社  
株式会社交洋  
株式会社講談社  
酒井重工業株式会社  
株式会社 サカタのタネ  
公益財団法人 笹川平和財団  
株式会社 サンウェル  
山九株式会社  
産経新聞 東京本社 正論調査室  
G-8 INTERNATIONAL TRADING 株式会社  
JFEスチール株式会社  
JGREEN POWER PRIVATE LIMITED  
株式会社ジェイティービー  
株式会社システムコンサルタント  
有限会社ジーエストララル

株式会社静岡ガス  
株式会社静岡銀行  
有限会社シタール  
品川イーストクリニック  
株式会社商船三井  
鈴木株式会社  
住友重機械工業株式会社  
住友電気工業株式会社  
住友不動産株式会社  
積水ハウス株式会社  
セコム医療システム株式会社  
ZEUS LAW  
SOMPOホールディングス株式会社  
株式会社タマインベストメントエデュケーションズ  
大成建設株式会社  
ダイキン工業株式会社  
株式会社大創産業  
露木興業株式会社  
TMI総合法律事務所  
ティー・ディー・パワーシステムズ・リミテッド  
株式会社 帝国ホテル  
帝人株式会社  
株式会社テクノロジーONE  
株式会社テレビ朝日  
株式会社テレビ東京  
株式会社デンソー  
TECH JAPAN 株式会社  
株式会社TBSホールディングス  
株式会社電通  
東京海上日動火災保険株式会社  
東洋アルミニウム株式会社  
東レ株式会社  
飛鳥建設株式会社  
トヨタ自動車株式会社  
株式会社トピア  
トランスコスモス株式会社  
内外トランスライン株式会社  
株式会社中村屋  
株式会社ナベル  
株式会社ニフコ  
西村あさひ法律事務所  
日印ビジネス支援協会株式会社  
日産自動車株式会社  
日精エー・エス・ビー機械株式会社  
NIPPON EXPRESSホールディングス株式会社

日本信号株式会社  
株式会社ニトリホールディングス  
日本経営ウイラ税理士法人  
株式会社 日本経済新聞社  
公益財団法人日本交通公社  
一般財団法人 日本国際協力センター  
日本テレビ放送網株式会社  
日本電気株式会社  
日本放送協会  
日本郵船株式会社  
日本電子株式会社  
野村不動産株式会社  
野村ホールディングス株式会社  
株式会社ノリタケカンパニーリミテド  
ハイカル ジャパン  
株式会社ハウラー  
株式会社博報堂  
株式会社 阪急交通社  
阪和興業株式会社  
パナソニックホールディングス株式会社  
日立造船株式会社  
株式会社日吉  
株式会社ピーアイ・ジャパン  
Beyond Next Ventures株式会社  
株式会社BS日本  
公益財団法人フォーリン・プレスセンター  
富士通株式会社  
株式会社フジテレビジョン  
富士電機株式会社  
株式会社ボルテックス  
国立大学法人北陸先端科学技術大学院大学  
前田建設工業株式会社  
株式会社みずほ銀行  
三井住友海上火災保険株式会社  
株式会社三井住友銀行  
株式会社 三菱地所設計  
三菱重工業株式会社  
株式会社三菱UFJ銀行  
森・濱田松本法律事務所  
株式会社ヤクルト本社  
株式会社安井建築設計事務所  
ヤマハ発動機株式会社  
ユービーエルジャパン合同会社  
読売新聞東京本社  
ラリス株式会社  
学校法人立命館  
ロジスティード株式会社  
YKK株式会社

# 『インド工科大学マミ先生の ノープロブレムじゃないインド体験記』

著者：山田真美

出版：笠間書院

定価：本体1800円（税別）

ISBN978-4-305-71023-9

GOOGLE、マイクロソフト、IBM、スターバックス、今や世界をけん引する企業のトップはインド系の人が多い。そんな技術大国インドの超エリートが集まり、世界中に優秀な人材を輩出し続けているインド工科大学（IIT）で授業をもっている著者が書き下ろした、インドとインドの人々の驚くべき実態とエリート大学生たちの素顔。

そもそも著者とインドは不思議な縁で結ばれている。インドとの出会いは著者が弱冠二十歳の女子学生の時。偶然、バスの添乗員のアルバイトをしたら、なんとお客様はインドの国会議員の御一行様。西洋一辺倒だった二十歳の女の子にはちょっと荷が重かったが、そこから始まる運命のようなインドとの不思議なご縁。添乗アルバイトの別れ際に一人の議員から、「あなたはインドへ行くために、生まれた人なのですよ」。

そんな言葉をかけられてから十年。様々な出来事を経てインドマジックを研究するために本当にインドへ渡った著者は、「マンゴーの木マジック」ができるマジシャンを探して広いインドを東奔西走、気が付くとインドを一周していた。

住んでみるとこれまたたいへん。何かと「ノープロブレム」を連発するインド人だが、その言葉とは裏腹にノープロブレムじゃない出来事の連続。

例えば、ある日、住んでいるアパートの壁がまるでドリフターズのコントのように突然ぶち抜かれたが、隣人が「ノープロブレム」。またある日は、いきなり自家用車のジープと運転手が忽然と消えていたり、二カ月ほど日本へ帰国してニューデリーへ戻



ると部屋が大洪水だったり、ノープロブレムじゃなくプロブレムだらけ。だが著者はそんなインドを嫌になるどころかますます惹かれていく。それどころかこの本には著者のインド愛が満ち溢れている。そのためか、読み進めていくうちに読者もインドが気になり、いつの間にか好きになっている。読んでいだけで著者といっしょにインドを旅している気分になれる。

また、インド工科大学の教え子たちとの交流も本書の読みどころ。インド国内から選抜され、勉強、勉強に明け暮れてきた学生たち。自殺率も平均より高いという。「ドラえもん」の歌を合唱する授業のページでは思わずほろりとさせられる。

（担当編集者 吉田浩行・筆）



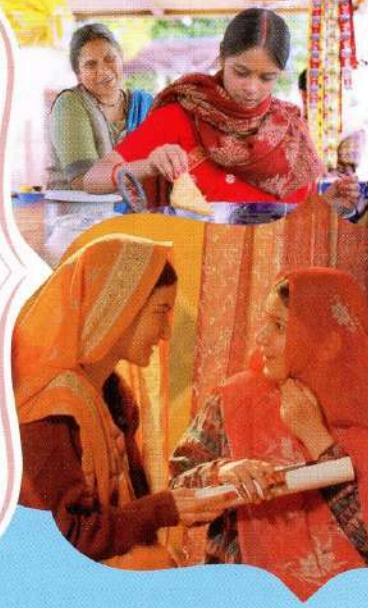
Jio Studios Presents

「きっと、うまくいく」主演  
アーミル・カーン製作

# 花嫁は どこへ?

*Laapataa Ladies*

लापता  
लेडीज



すべては、  
ありえない  
”かん違い”から  
始まった。



プロデューサー:アーミル・カーン、ジョーティ・デーシュパंडー 監督・プロデューサー:キラン・ラオ  
出演:ニターシ・コーエル、プラティバ・ランター、スバルシュ・シュリーワस्ताウ  
2024年 | インド | ヒンディー語 | 124分 | スコープ | カラー | 5.1ch |  
原題Laapataa Ladies | 日本語字幕 福永詩乃 応援:インド大使館 配給:松竹  
JIO STUDIOS PRESENTS AAMIR KHAN PRODUCTIONS DIRECTED BY KIRAN RAO  
ORIGINAL STORY BIPLAB GOSWAMI SCREENPLAY & DIALOGUES SNEHA DESAI  
ADDITIONAL DIALOGUES DIVYANIDHI SHARMA  
PRODUCED BY AAMIR KHAN, KIRAN RAO & JYOTI DESHPANDE

インド、大安の吉日。同じ赤いベールで顔が隠れた2人の花嫁が、たまたま同じ満員列車に乗り合わせて—!?

**運命のいたづらを幸せに変える感動の物語!** 17

第48回  
トロント  
国際映画祭  
正式出品

第3回  
紅海  
国際映画祭  
正式出品

第26回  
上海  
国際映画祭  
正式出品

CERTIFIED  
**FRESH**  
Rotten Tomatoes  
米レビューサイト  
Rotten Tomatoes  
(2024/7/29現在)  
批評家 **100%**  
観客 **95%**



インドの国民的大スター アーミル・カーン 製作!

運命のいたづらを幸せに変える感動の物語

歡喜あふれる傑作!  
— Andrew Lee

すべては、  
あり得ない“かん違い”から始まった——  
取り違えられた  
2人の花嫁の 想定外の人生のゆくえは?



STORY

2001年、とあるインドの村。  
プールとジャヤ、結婚式を終えた2人の花嫁は  
同じ満員列車に乗って花嫁の家に向かっていた。  
だが、たまたま同じ赤いベールで顔が隠れていた  
ことから、プールの夫のディーバクがかん違いして  
ジャヤを連れ帰ってしまう。置き去りにされたプール  
は内気で従順、何事もディーバクに頼りきりで彼の  
家の住所も電話番号もわからない。そんな彼女を  
みて、屋台の女主人が手を差し伸べる。一方、聡  
明で強情なジャヤはディーバクの家族に、なぜか夫  
と自分の名前を偽って告げる。果たして、2人の予  
想外の人生のゆくえは——?

同じベールで顔が隠れた2人の花嫁が、花嫁の家へ向かう満員列車の中で取り違えられた!? 奇想天外に始まるのは、育ちも性格も全く異なる2人の女性の想定外の人生。トロント国際映画祭を皮切りに世界で喝采を浴び、瞬く間に業界誌を満点の星と絶賛評で埋め尽くした必見の話題作。

『きっと、うまくいく』などの主演を務め“インドの国宝”として知られるアーミル・カーンが脚本を発掘し、ムンバイ映画祭の理事を務めるなどインド映画界を担うキラン・ラオに監督を託して生まれた新たな傑作。豊かな大自然を背景に、家族愛に溢れる結婚式、色鮮やかなサリーやジュエリー、スパイス香る屋台メシなど、物語を彩るインドの魅力に心が躍る。

予期せぬ旅を通して、全く新しい価値観と可能性を手にした2人の女性。やがて彼女たちは「幸せって何?」と自らに問いかけ、周りをも笑顔にしながら、初めて自分の手で人生を切り開いていく。逆境を幸せに変える2人に笑い泣く、感動の物語。

プロデューサー:アーミル・カーン、ジョーティー・デーシュバーンデー 監督・プロデューサー:キラン・ラオ  
2024年 | インド | ヒンディー語 | 124分 | スコープ | カラー | 5.1ch | 原題Laapataa Ladies | 日本語字幕 福永詩乃 配給:松竹  
© Aamir Khan Films LLP 2024 <https://movies.shochiku.co.jp/lostladies/>



10.4 (Fri) ROADSHOW

新宿東口 伊勢丹メンズ館そば  
新宿ピカデリー  
050 (6861) 3011  
[www.smt-cinema.com/site/shinjuku/](http://www.smt-cinema.com/site/shinjuku/)

有楽町イトシア イトシアプラザ4F  
シネマグループ  
ヒューマントラストシネマ有楽町  
03 (6259) 8608 ttgc.jp

池袋駅西口・東武百貨店隣接ミニ池袋8F  
シネ・リーブル池袋  
03 (3590) 2126 ttgc.jp

明治通り沿い 地下鉄B1 出口正面 ココチビル8F  
シネマグループ  
ヒューマントラストシネマ渋谷  
03 (5468) 5551 ttgc.jp

# 日印協会からのご案内

## 日印協会主催「天竺茶話会」

講師の方を招いて、あらかじめ決めたテーマで参加者の方々と話し合うお茶会です。インド通の方、もっともっとインドについて知りたい方、インドについて詳しくなりたい方、皆様のご参加をお待ちしております。どうぞお気軽にご参加ください。

### 《テーマ》

「AYUSH省によるヨーガ普及の取り組み」

### 《講師》

ヨーガ講師 竹内想子氏

### 《日時》

2024年9月24日(火) 15時00分~16時30分

(受付開始14時45分)

### 《会場》

公益財団法人日印協会 会議室

東京都千代田区麴町1-6 麴町保坂ビル 6階

### 《定員》

約18人※定員数になり次第、締切らせて頂きます。

### 《参加費》

お茶菓子とお茶代 1,000円(当日現金)

### 《お申し込み》

QRコードからお申し込みください。

(※操作が不得手な方は、お電話でも承ります。)

TEL: 03-6272-4408



※次号の『MJIA(エムジア)』は、  
2024年10月18日(金)に発刊予定です。

本誌に掲載の寄稿は、執筆者のご意見・ご見解であり、  
当協会の見解を反映するものではありません。





新しい翼で、世界の空へ。

JAL 羽田-デリー線、成田-ベンガルール線  
好評運航中!



おかげさまでJALグループは、6年連続で  
世界最高ランクの5-STAR AIRLINE\*に認定されました。  
\*SKYTRAX社認定



明日の空へ、日本の翼